

平成28年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT28295 ロボット技術から学ぶ人間の不思議—人の感覚を探る—



開催日：平成28年8月6日(土)

実施機関：九州工業大学

(実施場所) (情報工学部飯塚キャンパス)

実施代表者：林 英治

(所属・職名) (大学院情報工学研究院 機械情報工
学研究系 教授)

受講生：高校生 10 名

関連URL：<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/>

【実施内容】

○留意、工夫した点

- ・高校生の目線に合わせるように、ロボット技術の取り巻く期待と実際を比較して研究説明を行った。
- ・実習では、TA とともに実際にロボットを前にして、説明と実演を交えて議論を行った。

○当日のスケジュール

09:11-09:30, 09:45-10:04 バスによる移動(飯塚バスセンター～JR 新飯塚駅～情報工学部)

10:00-10:30 受付(インタラクティブ学習棟(MILAiS)集合)

10:30-11:00 開講式(あいさつ, 大学紹介, オリエンテーション, 科研費の説明)

11:00-12:00 講義&実習「人間の感覚とロボット(講師:林英治)」

12:00-13:00 昼食

13:00-14:30 実習「エモーショナル・システム「Conbe-I」による感覚実験」

14:30-15:00 休憩およびフリーディスカッション(ティータイム(お菓子, 飲料))

15:00-15:30 講義「未来のロボットに向けての感覚の実現方法(講師:林英治)」

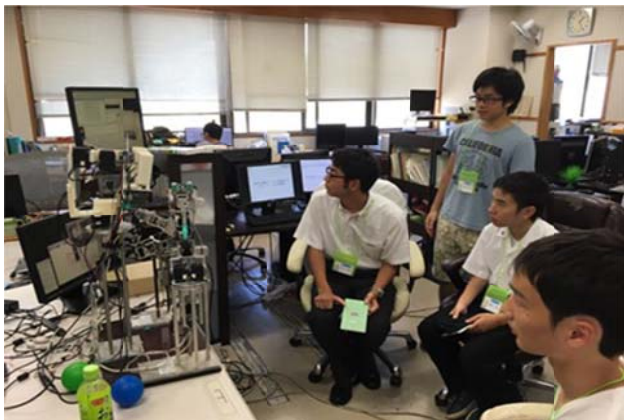
15:30-16:00 修了式(アンケート記入, 未来博士号の授与)

16:00 終了・解散

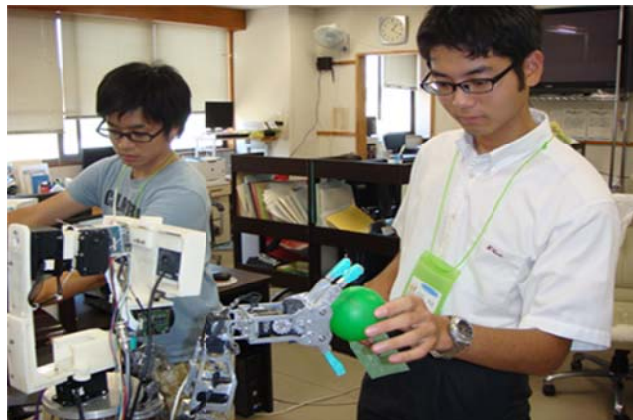
16:10-16:24 バスによる移動(情報工学部～飯塚バスセンター～JR 新飯塚駅)

○実施の様子

- ・参加高校生は、しっかりとした会話をしており、好奇心に溢れた目とともに、TA や生徒たちと非常に闊達に話をしていたのが印象に残る。



感覚実験の様子①



感覚実験の様子②

○事務局との協力体制

- ・事務局会計課が委託費の管理と支出報告書の確認を行った。
- ・事務局研究協力課が振興会への連絡調整と提出書類の確認・修正を行った。
- ・情報工学部広報室、広報委員会が、実施者と共に、本事業のPRを行った。

○広報活動

- ・実施者(代表者・分担者)と広報室員が分担して、近隣の高校への訪問や7月に実施されたオープンキャンパスにおいて本事業のPRを行った。
- ・情報工学部の広報室と連携し、大学のHPや地元の新聞広告などによって本事業のPRを行い、募集の案内は実施代表者、実施分担者と広報室が作成した。
- ・情報工学部広報委員会と連携し、高校訪問、進学説明会、入試説明会の場で参加者募集の広報を行った。

○安全配慮

- ・受講生2人に1人のアドバイザを置き、安全確保の手助けを行った。
- ・受講生と実施協力者(大学院生)に短期のレクリエーション保険に加入した。その他の実施者については大学が加入している保険が適用される。

○今後の発展性、課題

- ・最近、ロボットの話題をTV、Webサイト等で目にするようだが、実際の研究と市販にでているロボットの違いに驚きがあるようだ。初めて知るということは貴重な体験であり、大事にしてあげ、想像を働かせるような講義にしていきたいと考える。

【実施分担者】

なし

【実施協力者】 _____ 6名

【事務担当者】

成田 麻紀 研究協力課・研究協力係